

## 007 イエス誕生の予告

ルカによる福音書 1 : 26～38

### ▶イエスの誕生が予告される（マリアへの告知）

26（エリサベトが身ごもって）六か月目に、天使<sup>ガブリエル</sup>は、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。27 ダビデ家のヨセフという人のいいなづけ（＝許嫁）であるおとめ（＝未婚の若い女性）のところに遣わされたのである。そのおとめの名は<sup>マリア</sup>といった。



28①天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう（＝シャローム）、恵まれた方。主があなたと共におられる。」

→「恵まれた方」をカトリック、ブルガタ（ウルガタ）ラテン語訳では「full of grace」とし、「マリア崇拜」につなげている（→カトリックのマリア崇拜）。

→（ルカによる福音書 11 : 27～28）イエスがこれらのことを話しておられると、ある女が群衆の中から声高らかに言った。「なんと幸いなことでしょう、あなたを宿した胎、あなたが吸った乳房は。」しかし、イエスは言われた。「むしろ、幸いなのは神の言葉を聞き、それを守る人である。」

→イエス・キリストは、ルカによる福音書 11 : 27 の問いかけに対して、承認せずに、「幸いなのは神の言葉を聞き、それを守る人である」と応えている。また、聖書には、マリアの死や昇天について、あるいは、マリアが祈りの仲介者であることについて記していない（→マリア崇拜の否定）。

29②マリア（→ミリアム：ヘブライ語）はこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。

30③すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。

31④あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエス（→ヘブライ語、Yeshua イェシュア「主は救う」の意味）と名付けなさい。

→（イザヤ書 7 : 14）それゆえ、わたしの主が御自ら／あなたたちにするしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み／その名をインマヌエルと呼ぶ。

32 その子は偉大な人になり、いと高き方（ハ・エルヨン：ヘブライ語＝神）の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。33 彼は永遠にヤコブの家（→イスラエルの民）を治め、その支配は終わることがない。」

34⑤マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」

35⑥天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。

→対句法：聖霊があなたに降り⇔いと高き方の力があなたを包む、聖なる者⇔神の子

→イエス・キリストは、聖霊による処女懐胎で生まれたので、母マリアの人間の原罪を継承しておらず、原罪を持たない人間として誕生している（聖霊による処女懐胎は、原罪を持たない人間、イエス・キリストの誕生に必要なものであった）。

36 あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。37 神にできないことは何一つない。」

→（創世記 18 : 14）主に不可能なことがあるうか。来年の今ごろ、わたしはここに戻ってくる。そのころ、サラには必ず男の子が生まれている。

38 マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」  
そこで、天使（ガブリエル）は（使命を終え）去って行った。

【参考】エル・グレコ「受胎告知」



1590～1603年

108.5×79.5cm、油彩、カンヴァス

所蔵：大原美術館

エル・グレコ（スペイン語）は「ギリシア人」の意。本名はドメニコス・テオトコプーロスといい、クレタ島の出身です。

人体が引き伸ばされたデフォルメ（意識的・無意識的に変形させること）、強烈な明暗と色彩の対比が特徴ですが、その傾向が強まるにつれて人気がなくなった。



「受胎告知」はマリアが天使ガブリエルから、キリストの懐妊を告げられる場面で、天使の周りには純潔を示す①百合と②燃える柴、聖霊の象徴である③鳩が描かれている。